

2023年度 日本乳幼児教育・保育者養成学会第4回研究大会 開催案内

後援: 保育教諭養成課程研究会

大会テーマ「こどもまんなか社会における養成・研修の新たなステージに向けて」

本学会は、毎年12月に年に1回の研究大会をリモートとして行うこととしています。全国の様々な地域から参加することを優先しています。学会誌は2023年度第3号を刊行しました。投稿も幅広く増えてきています。本学会としてはこの学会誌と研究大会を二大柱として活動を進めています。同時に、日頃の情報交換をネットで行うこと、また基本となる共同研究を学会員のグループを構成し、その援助を学会として進めています。

研究大会では、本学会の使命をより一層鮮明にしていきたいと願っております。それはなにより、乳幼児教育・保育の保育者の養成と研修の質の向上です。そのための実践研究と実証研究、理論研究が柱となります。もちろんその背景として、乳幼児教育・保育の実践そのものの検討を進めていかねばなりません。また、そこに関わる政策の動向や検討が必要になります。

そのために、各会員の研究発表の場を設けます。それはできる限り幅広く会員の研究また実践の動向を反映していきたいと考えています。また乳幼児教育・保育の実践及びその養成の在り方の進展を受けて、その現状のあり方、そして今後への展望の報告を行うプログラムを組みたいと検討しています。さらにまた、文部科学省や子ども家庭庁の施策の動きについても情報提供をしたいと考えて、その機会を設ける予定です。それらを合わせて、今、実践の現場また養成・研修の広がりの中でどういう動向が起きていて、それがどういう意味を持つのか。それらは本当に養成・研修の質の向上またひいては実践そのものの改革につながっているのかを検討し、さらに優れた方向に向けて行くには何をすべきなのかについて会員の工夫と叡智を集めたいと願っています。

第4回研究大会への会員の方々の積極的な参加をお願いします。そしてまた、身近な関係の方々へ参加を呼び掛けていただくと幸いです。リモート上になりますが、その折にお目には掛かりましょう。

理事長 無藤 隆

今年4月にこども家庭庁が発足し、そして、こども基本法が施行されました。また、保育者や保育現場には世間の厳しい目が向けられる昨今、子どもと子どもを取り巻く環境、そして、子どもの成長を支える人々の在り方が問われています。

さて、ここに、2023年12月23日(土)に「日本乳幼児教育・保育者養成学会第4回研究大会」が開催されることをご案内いたします。大会テーマは、「こどもまんなか社会における養成・研修の新たなステージに向けて」です。今年度も、業務多忙の時期を配慮し、また、海外からの参加にも対応できるよう、オンラインで開催いたします。7月中には大会HP開設し、学会ウェブサイト、会員宛メール等でも随時告知いたしますので皆様ご参加ください。

日本乳幼児教育・保育者養成学会 第4回研究大会運営委員長 中田 範子

12月23日(土)

オンライン及びオンデマンド開催

10:00-16:10

10:00~11:10

開会式(理事長挨拶/大会運営委員長挨拶/来賓挨拶・記念講演/本学会概要・研究部会の紹介)

記念講演

テーマ:「架け橋教育の充実とこれからの幼児教育」(仮)

藤岡 謙一 氏 (文部科学省 初等中等教育局幼児教育課 課長)(予定)

対談と論説

11:15~12:05

テーマ:「こどもまんなか政策の展望と保育者養成の在り方」(仮)

高木 秀人氏 (こども家庭庁 成育局 成育基盤企画課 課長)(予定) × 鈴木 みゆき氏 (國學院大學 教授)

対 談

12:10~13:00

テーマ:「保育者養成における実習教育の課題と展望」

北野 幸子 氏 (神戸大学大学院 教授) × 無藤 隆 氏 (白梅学園大学 名誉教授)

大会運営委員会企画シンポジウム

13:40~15:00

テーマ:「幼児期からの育ち・学びとプロセスの質—国立教育政策研究所 平成29年~令和4年度プロジェクト研究より—」(仮)

話題提供者:掘越 紀香 氏(国立教育政策研究所 幼児教育研究センター副センター長・総括研究官、初等中等教育研究部総括研究官) /

内田 千春 氏 (東洋大学 教授) / 荒牧 美佐子 氏 (目白大学 准教授)

指定討論者:無藤 隆 氏 (白梅学園大学 名誉教授)

研究発表

15:10~16:10

2023年度 日本乳幼児教育・保育者養成学会第4回研究大会 開催案内

後援: 保育教諭養成課程研究会

■大会参加費

会員 6,000円 / 非会員 6,500円

(保育教諭養成課程研究会会員の方で本学会に入会されていない方は「非会員」扱いとなります。)

支払いは、大会ホームページ上で行い、クレジットカード決済のみです。

※研究発表費はありません。

※学会入会希望の方は本学会のホームページ <http://eectet.jp/> からご入会ください。

■申込手続き

大会ホームページの「大会参加登録」から大会参加申込、研究発表申込を行います。

大会参加申込と大会参加費納入の期間については、下記申込手続き期間にご注意ください。

大会ホームページ <https://eectet.info/2023/>

■ 大会参加・研究発表申込手続き・期間

	手続き	期間
大会参加	大会参加申込	8月1日(火)～大会当日
	大会参加費納入	

	手続き	期間
研究発表	研究発表申込 (題目・要旨200字～400字)	8月1日(火)～9月30日(土)
	研究発表資料提出(アップロード)期間 (PPT10枚程度をPDF化したもの)	10月10日(火)～10月31日(火) ※期間厳守
	研究発表資料掲載期間	12月9日(土)～12月26日(火) ※事前にコメントを記入することができます。詳細は後日連絡いたします。
	研究発表	12月23日(土)15:10～16:10 座長在席時間 ※座長在席時間内の発表者によるコメントへの返答をもって「出席」といたします。

大会に関するお問い合わせ

日本乳幼児教育・保育者養成学会第4回研究大会運営委員会

東武トップツアーズ株式会社 MCC大阪事業部内

hoyouken@tobutoptours.co.jp (8月1日から対応)

■研究発表の概要

- 研究発表は、大会当日ページに発表資料を公開するオンデマンド型で、在席時間中(15:10~16:10)にコメント投稿欄を用いて行います。
- 研究発表の要件は、会員であること、今年度年会費及び大会参加費を9月30日(土)までに納入済であることです。
- 筆頭者としての発表は、一人当たり2件までとします。筆頭者以外の制限はありません。
- 研究大会までの手続きは以下の順となります。研究発表申込の際には、発表者全員の今年度年会費納入状況をご確認の上、未払いのある場合は、9月30日(土)までに納入してください。

▶手順1. 大会参加申込 8月1日(火)~9月30日(土)

- 大会ホームページの「大会参加登録」のページから申込をしてください。

▶手順2. 大会参加費納入 8月1日(火)~9月30日(土)

- 金額 6,000円(会員)
- 支払いは大会ホームページ「大会参加登録」で行い、クレジットカード決済のみの扱いとなります。

▶手順3. 研究発表申込 8月1日(火)~9月30日(土)

- 研究題目、要旨を投稿し、発表区分を選択することをもって「研究発表申込」となります。
- 大会ホームページの「大会参加登録」ページに、(1)研究題目と要旨を入力し、(2)発表区分を選択してください。

(1)研究発表の題目と要旨の執筆要項

- 発表者の所属先は、学校名及び施設・園名・所属団体名のみ表記する。例)「〇〇大学」「〇〇園」
- 題目と要旨は、英数字をすべて半角で記載する。
- 要旨の字数は200字~400字とする。

※研究発表申込期間中は、入力内容の変更は可能ですが、申込期間を過ぎてから変更はできません。発表者の掲載順の変更についても同様です。上記①~③につきましては、執筆要項に合っていない場合、大会運営委員会で修正させていただきますのでご了承ください。執筆要項に合っていない場合、入力ができないことがあります。

(2)研究発表区分の選択

以下のa~qより、該当する発表区分を3つ選択してください。お選びいただいた発表区分を参考に、担当者が発表グループを作成いたします。

- | | |
|-----------------------|--------------------------------|
| a. 保育者の研修制度、処遇改善 | j. 保育の質 |
| b. 保こ幼小の連携、地域連携、子育て支援 | k. ドキュメンテーションやポートフォリオなど保育の記録方法 |
| c. 海外の保育方法・保育の国際比較 | l. インクルーシブ保育、特別支援教育 |
| d. 施設の安全・危機管理体制 | m. ICTの活用 |
| e. 5領域、乳児保育、食育 | n. 実習日誌や実習指導など養成校での授業実践 |
| f. 保育思想、保育理論、保育史 | o. 保育者養成校の学生指導 |
| g. 幼児理解、発達関連 | p. 養護的側面から見た保育実践・保育者研修 |
| h. 保育環境(園庭を含む)、保育教材 | q. 子どもの権利と人権 |
| i. 保育者の資質向上 | |

▶手順4. 研究発表資料提出(アップロード) 10月10日(火)~10月31日(火)

(1)提出方法

大会ホームページの「大会参加登録」ページに添付して登録してください。

(2)研究発表資料の執筆要項

- PowerPointのスライドを10枚程度(最大15枚以内・題目を含む)にまとめてPDF化する。※1ページ1枚のスライドとしてください。
- 1枚目は表紙とし、研究発表申込時に入力した、題目、発表者、発表者の所属を書く。
- 大会ホームページ上に公開後、ダウンロードや印刷が可能となります。
- 研究発表資料の著作権は、発表者にあります。